



# がどうだより

吟道賀堂流総本部 会報  
第6号 令和5年10月1日  
発行 吟道賀堂流総本部  
会長 磯部賀堂

## 第31回吟士権者決定大会開催(太子町あすかホール)

第31回吟士権者決定大会は、令和5年9月10日(日)に、4年ぶりにコロナ制限のない大会を行うことができた。例年、姫路市内で行われていた本大会が、初めての会場であったこと、時間短縮のため昼食休憩時間を無くしたこと、従来からのCD伴奏に代えパソコンによる伴奏を初めて導入したこと等による懸案事項もあったが、予定通り無事終了することができた。

一部～五部の優勝者は以下の通りでした。おめでとうございます。

一部 小島 保行(中国) 二部 牛尾多津子(近畿) 三部 田中賀宝静(近畿)  
四部 津田勝正他(近畿) 五部 森田幸代(近畿)

パソコン伴奏については、今後改善を加えて引き続き使用していきたい。

三本部からの出吟者、役員等を含め約250名の参加者であった。



## 吟道賀堂流の歴史(6)

姫路本部は昭和45年から資格別競吟大会を開催、引き継がれて今日に至る。近畿総本部は昭和49年に創流40周年記念吟道大会を佐々木孝吾財団日吟振副会長、太刀掛呂山山陽吟社主宰他の来賓を招き盛大に開催するなど組織を拡大したが、昭和52年1月に田村賀峰会長が逝去、山本賀省二代会長就任し2月に賀堂流葬を、翌

53年来賓多数を招き追悼吟道大会を開催。昭和54年に篠の丸吟詠会が編入した。

中国本部でも昭和53年8月に桧垣賀陽会長が逝去、9月に各界より多数の参列を得て合同葬を施行、川手賀楓二代会長が就任。昭和55年に追悼大会を呉市で盛大に開催。川手賀楓会長は広島県吟剣詩舞道総連盟理事長に、泉賀洸中国本部理事長は総連盟副理事長に就任した。



川手賀楓師



山本賀省師

京都総本部では昭和55年に創立15周年・牧賀公吟道50周年記念吟道大会を福知山市で盛大に開催、昭和57年には京都府吟剣詩舞道総連盟一般一部で西田公祥、二部で円藤賀真寿がアベック優勝の快挙を遂げたが、昭和58年3月に牧賀公会長が逝去、千坂賀秀二代会長が就任し5月に財団笹川良一会長、谷山国霊愛連理事長を始め約100名の来賓を招いて京都総本部葬が施行された。(磯部賀堂)

第5号の写真に記載の名前に誤りがあました。お詫びし訂正致します。「牧賀交師」→「牧賀公師」、「千坂賀秀師」→「千坂賀秀師」

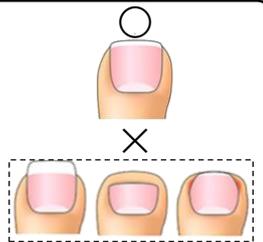
## 吟と健康(6) \*\*\* 足の爪のお話し\*\*\*

しっかりとした吟声の為には両足の踏ん張りはとても重要です!

足の筋肉は鍛えても、足の爪、なおざりになっていませんか? 加齢に伴い爪が変形すると指の踏ん張りがきかずに転倒につながります。

高齢者は爪が割れやすいため、一度で切ろうとせず細かく分けて切る。“爪の先の白い部分”が少し残るように切るのがポイント! 白い部分の裏側には、細菌の侵入を防いでくれる皮膚があり、この皮膚の力が弱まると乾燥や爪がうまく育たなくなってしまうことも。

角は丸く切らない(巻き爪防止)、爪は指先の保護や指先の感覚など重要な役割を担う上皮組織、高齢者は爪の水分が少ないため保湿も大切とのこと。見えない所ですが大切に!! 常日頃心掛けておられますか? 再チェックを!



(村山賀聖蓉)

## 全国吟詠コンクール 近畿決勝大会・全国決勝大会

全国吟詠コンクールの近畿大会は、8月11日(日)に大阪府大東市立市民会館で開催されました。

賀堂流からは、幼年の部で、高橋拓来君(小3、京都)が2位に、木山瑛大君(小5、近畿)が3位に、少年の部では、木山咲良さん(中3、近畿)が2位に、横山百音さん(中3、近畿)が3位になりました。



高橋君

全国決勝大会幼年の部

高橋拓来君、木山咲良さん、横山百音さん、および壮年三部の吉田秋良さん(近畿)が、9月18日(祝)に東京で開催される全国吟詠コンクール決勝大会への出場権を獲得しました。



幼年の部

全国吟詠コンクール近畿決勝大会

少年の部

全国吟詠コンクール決勝大会の結果、幼年の部で高橋拓来君は4位になりました。

## 近畿本部

### 第4回少年発表会

令和5年度の少年登録会員は25名であり、7月16日(日)午前10時から、姫路市北部市民センターで第4回少年発表会が開催されました。学校行事などで当日はわずか5名の参加となりましたが、素晴らしい吟を披露してくれました。

発表会は少年たちの合吟から始まり、5歳の可愛い山本さんが「常盤弧を抱くの囀りに題す」、9歳の藤田さんが「江南の春」、10歳の青木君が「富士山」、同じく10歳の秦さんが「夜墨水を下る」、そして最後に11歳の三木さんが「富士山」と、5名の幼少年がそれぞれ立派な吟を披露しました。最後には少年の指導者5名による合吟「早に白帝城を発す」でプログラムは終了しました。

近畿本部の石井会長から出吟された幼少年たちには褒章と記念品が贈られ、最後にご来賓として出席いただきました磯部賀堂宗家からは図書券が幼少年たちに授与されました。

会場には、出吟した幼少年たちの家族、指導者の先生方、近畿本部の役員の先生方、そして少年発表会の後に行われる競吟大会の出吟者など、多くの方々に見守りいただき、1時間足らずの発表会でしたが、内容の充実した発表会となりました。来年は、さらに多くの参加者を迎えるために工夫を凝らす予定です。

尚、当日の様子はYouTubeにアップされており、QRコードを掲載していますので、スマートフォンで見てください。

(企画室 少年担当)



左より磯部宗家、山本さん、藤田さん、青木君、秦さん、三木さん、石井会長



Youtube QRコード

## 中国本部

### 通常総会及び研修会について

4月15日(土)安芸区民文化センターに於いて、60名の参加で総会を開催いたしました。昨年・一昨年は、コロナの影響で書面による総会となりましたが、本年は多少落ち着き、会員皆様の元気な顔を拝見しながらの、総会になりました。

中国本部に貢献され、お亡くなりになられた、諸先輩の黙とうで始まり、30周年記念吟士権者決定大会で活躍された方々の労を労い、事業報告に続き、会計報告では、支出が収入を上回り逆転の事態になり、今後の運営をいかに改善するかの、検討課題となりました。今年度の事業計画では吟士権中国大会、研修会実施と各会が趣向を凝らしての発表会が開催されます。

会員増強を、お願いしての終了となりました。従来はこれで終了ですが、この度は遠方からの会員がおられますので、その後研修会を開催致しました。中国本部は桧垣賀陽先生の指導で総本部との譜節の違いがありこれは長年の習性で改善に配慮している為、再度研修で徹底し、有意義な総会となりました。

(伊藤賀久裕)

## 京都本部

### 全丹地区吟士権者決定吟詠大会開催

第47回京都府詩吟連盟後援、全丹地区連絡協議会主催、福知山吟総連、全丹地区吟士権者決定ならびに吟詠・剣詩舞道祭が令和5年6月25日に、昨年と同様、福知山市大江町の総合会館で開催されました。

参加は令和元年までは6流派でしたが、2流派が会員減少のため脱退した事により、4流派で行う事となった全丹地区独自の行事です。

役員、会員、来賓合わせて150名余りで行われました。来賓として京都府詩吟連盟執行部10名、福知山市文化協会会長、綾部市文化協会会長にご参加いただきました。

昭和50年より開催されたもので、内容として次のものを選出する競技会です。

一部(74歳以下)吟士権者、シニア(75歳以上)の吟士権者、合吟(5名)3位までを決定。その後は4流派の吟詠・剣詩舞が披露されました。

今年の賀堂流牧水吟詠会の成績は一部で森阿佐子さんが2位、合吟女子も2位、シニアの部で2名、一般の部で4名が入賞の成績でした。

ちなみに、西田賀公亮会長は、昭和55年、56年、58年の3回吟士権者の栄誉を頂いております。

(牧水吟詠会)



賀堂流ホームページ: <https://gadoh.info>  
-スマホで賀堂流ホームページへ

担当 吉永賀鈴、片岡賀弘蒼、村山賀聖蓉  
連絡先 吉永賀鈴 TEL:079-298-5107  
E-mail: garei\_yoshi@yahoo.co.jp